

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第17期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 デリカフーズホールディングス株式会社

【英訳名】 DELICA FOODS HOLDINGS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大崎 善保

【本店の所在の場所】 東京都足立区六町四丁目12番12号

【電話番号】 03(3858)1037(代表)

【事務連絡者氏名】 経理財務統括室長 中島 実哉

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区六町四丁目12番12号

【電話番号】 03(3858)1037(代表)

【事務連絡者氏名】 経理財務統括室長 中島 実哉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第16期 第2四半期 連結累計期間 | 第17期 第2四半期 連結累計期間 | 第16期 |
|----------------------------|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 2018年4月1日 至 2018年9月30日 | 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日 | 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | 19,460,114 | 20,429,099 | 39,448,215 |
| 経常利益 | (千円) | 275,295 | 373,406 | 761,158 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 | (千円) | 147,380 | 233,872 | 459,703 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | 137,495 | 237,636 | 422,757 |
| 純資産額 | (千円) | 7,562,180 | 7,972,009 | 7,847,441 |
| 総資産額 | (千円) | 19,290,483 | 21,309,815 | 19,807,206 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益 | (円) | 10.00 | 15.86 | 31.18 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 | (円) | | | |
| 自己資本比率 | (%) | 39.2 | 37.4 | 39.6 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 269,395 | 1,059,425 | 1,049,063 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 859,642 | 1,503,159 | 2,264,818 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 170,053 | 1,159,973 | 144,536 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 | (千円) | 3,161,458 | 3,566,779 | 2,850,540 |

| 回次 | | 第16期 第2四半期 連結会計期間 | 第17期 第2四半期 連結会計期間 |
|-------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | | 自 2018年7月1日 至 2018年9月30日 | 自 2019年7月1日 至 2019年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益 | (円) | 2.64 | 6.44 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
4. 2019年9月1日付で1株につき2株の株式分割を行いました。第16期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に停滞感が見られるものの、雇用・所得環境が底堅く、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中貿易摩擦の長期化、中国経済の減速、日韓関係の悪化及び10月から実施された消費税増税の影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品関連業界におきましても、消費者の節約志向は依然として根強く、かつ人手不足の深刻化や物流コスト上昇、7月以降の天候不順や自然災害の影響等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、営業部門を強化し、メニュー提案・産地提案等の営業活動に注力いたしました。加えて、物流子会社エフエスロジスティクス株式会社の流通インフラ、デリカフーズ株式会社の埼玉FSセンター・中京FSセンターの青果物の低温貯蔵機能及び最新の生産設備等をお客様に高くご評価いただいたこと、人手不足の深刻化に伴いカット野菜・真空加熱野菜の需要が増加したこと等により、新規顧客の獲得及び既存取引の深耕が順調に進捗いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,429百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

利益につきましては、デリカフーズ株式会社愛知事業所のカット野菜工場改修に伴う消耗品費等の立ち上げ費用の発生及び減価償却費の増加に加え、人手不足・最低賃金上昇に伴う労働コストの上昇、天候不順による野菜の調達価格の高騰等がありましたが、売上の伸長、低温貯蔵機能を活用した戦略的な購買の実施、野菜入荷時の検品や在庫管理の強化等により、営業利益は342百万円（前年同四半期比45.0%増）、経常利益は373百万円（前年同四半期比35.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円（前年同四半期比58.7%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

青果物事業

当セグメントの売上高は、営業部門を強化し、メニュー提案・産地提案等の営業活動に注力したこと、埼玉FSセンター・中京FSセンターの青果物の低温貯蔵機能及び最新の生産設備等をお客様に高くご評価いただいたこと、人手不足の深刻化に伴いカット野菜・真空加熱野菜の需要が増加したこと等により、20,373百万円と前年同四半期と比べ962百万円（5.0%）の増収となりました。セグメント利益（経常利益）は、デリカフーズ株式会社愛知事業所のカット野菜工場改修に伴う消耗品費等の立ち上げ費用の発生及び減価償却費の増加に加え、人手不足・最低賃金上昇に伴う労働コストの上昇、天候不順による野菜の調達価格の高騰等がありましたが、付加価値の高いカット野菜・真空加熱野菜の売上増加、低温貯蔵機能を活用した戦略的な購買の実施、野菜入荷時の検品や在庫管理の強化等により、336百万円と前年同四半期と比べ91百万円（37.3%）の増益となりました。

物流事業

当セグメントの売上高は、主要な荷主であるデリカフーズ株式会社の売上高が順調に増加していることに加え、2018年10月より大阪営業所を開設したこと、野菜と資材を同時に配送するサービスについてお客様からご評価をいただいたこと等により、1,531百万円と前年同四半期と比べ372百万円（32.2%）の増収となりました。セグメント損失（経常損失）は、事業拡大・物流網構築のための人員・車両確保費用の発生、原油価格高騰に伴う燃料費の上昇等により、2百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント損失（経常損失））となりました。

研究開発・分析事業

当セグメントの売上高は、分析業務の売上高が順調に増加しましたが、コンサルティング部門の売上高が大幅に減少したこと等により、62百万円と前年同四半期と比べ1百万円（3.0%）の減収となりました。セグメント利益

(経常利益)は、作業効率向上に伴う外部委託費用・人件費の減少等により、5百万円(前年同四半期は9百万円のセグメント損失(経常損失))となりました。

持株会社

当セグメントの売上高は、416百万円と前年同四半期と比べ29百万円(7.6%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、182百万円と前年同四半期と比べ18百万円(11.2%)の増益となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し、8,683百万円となりました。これは、主として現金及び預金が716百万円増加した一方、売掛金が415百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、12,626百万円となりました。これは、主として建設仮勘定が585百万円、機械装置及び運搬具が229百万円、土地が163百万円、建物及び構築物が138百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.6%増加し、21,309百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、5,209百万円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて19.3%増加し、8,128百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.5%増加し、13,337百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、7,972百万円となりました。これは、主として利益剰余金が増加したことなどによります。

(2) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より716百万円増加し3,566百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少額418百万円、減価償却費413百万円、税金等調整前四半期純利益360百万円が主要な収入であります。また、法人税等の支払額127百万円、たな卸資産の増加額43百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,059百万円の収入(前年同四半期は269百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,517百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,503百万円の支出(前年同四半期は859百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,900百万円が主要な収入であります。また、長期借入金の返済による支出564百万円、配当金の支払額117百万円が主要な支出であります。以上の結果、1,159百万円の収入(前年同四半期は170百万円の支出)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は22百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 20,000,000 |
| 計 | 20,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日) | 提出日現在 発行数(株) (2019年11月14日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 14,872,000 | 14,872,000 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は100株でありま す。 |
| 計 | 14,872,000 | 14,872,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2019年9月1日 (注) | 7,436,000 | 14,872,000 | | 1,377,113 | | 1,708,600 |

(注) 株式分割(1:2)によるものであります。

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------------|------------------|--------------|---|
| 舘本 篤志 | 愛知県名古屋市千種区 | 2,038,400 | 13.82 |
| 舘本 勲武 | 愛知県名古屋市中村区 | 1,900,600 | 12.88 |
| 日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海一丁目8-11 | 1,248,500 | 8.46 |
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 東京都港区浜松町二丁目11-3 | 404,100 | 2.74 |
| 大崎 善保 | 埼玉県草加市 | 261,800 | 1.77 |
| 丹羽 真清 | 愛知県名古屋市名東区 | 204,600 | 1.39 |
| 野村 五郎 | 兵庫県明石市 | 198,800 | 1.35 |
| 岡本 高宏 | 東京都足立区 | 174,000 | 1.18 |
| 株式会社クローバフォー | 新潟県十日町市 | 168,000 | 1.14 |
| デリカフーズグループ従業員持 株会 | 東京都足立区六町四丁目12-12 | 160,400 | 1.09 |
| 計 | | 6,759,200 | 45.81 |

(注) 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

| | |
|-----------------------|------------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) | 1,247,500株 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) | 404,100株 |

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|---------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 118,400 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 14,751,500 | 147,515 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,100 | | |
| 発行済株式総数 | 14,872,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 147,515 | |

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式84株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--------------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) デリカフーズホールディングス株式会社 | 東京都足立区六町四丁目 12番12号 | 118,400 | | 118,400 | 0.80 |
| 計 | | 118,400 | | 118,400 | 0.80 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,195,540 | 3,911,779 |
| 売掛金 | 4,798,529 | 4,383,286 |
| 商品及び製品 | 140,729 | 166,152 |
| 仕掛品 | 12,583 | 13,313 |
| 原材料及び貯蔵品 | 50,054 | 67,891 |
| その他 | 114,695 | 142,891 |
| 貸倒引当金 | 1,819 | 1,525 |
| 流動資産合計 | 8,310,312 | 8,683,790 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,005,298 | 5,143,465 |
| 土地 | 3,475,957 | 3,639,663 |
| その他(純額) | 1,698,641 | 2,555,310 |
| 有形固定資産合計 | 10,179,897 | 11,338,439 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 77,861 | 70,121 |
| 無形固定資産合計 | 77,861 | 70,121 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,243,829 | 1,218,845 |
| 貸倒引当金 | 4,695 | 1,381 |
| 投資その他の資産合計 | 1,239,134 | 1,217,464 |
| 固定資産合計 | 11,496,893 | 12,626,025 |
| 資産合計 | 19,807,206 | 21,309,815 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,112,651 | 2,110,277 |
| 短期借入金 | 260,000 | 260,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 992,092 | 1,070,413 |
| 未払法人税等 | 107,260 | 115,102 |
| 未払金 | 1,315,010 | 1,303,797 |
| 賞与引当金 | 113,432 | 117,745 |
| その他 | 245,966 | 231,729 |
| 流動負債合計 | 5,146,414 | 5,209,066 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,118,210 | 7,375,555 |
| 退職給付に係る負債 | 129,892 | 136,648 |
| 資産除去債務 | 260,234 | 260,929 |
| その他 | 305,013 | 355,605 |
| 固定負債合計 | 6,813,350 | 8,128,739 |
| 負債合計 | 11,959,764 | 13,337,806 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,377,113 | 1,377,113 |
| 資本剰余金 | 2,164,228 | 2,167,666 |
| 利益剰余金 | 4,205,155 | 4,321,052 |
| 自己株式 | 28,494 | 27,025 |
| 株主資本合計 | 7,718,003 | 7,838,807 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 136,245 | 136,691 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 6,806 | 3,489 |
| その他の包括利益累計額合計 | 129,438 | 133,202 |
| 純資産合計 | 7,847,441 | 7,972,009 |
| 負債純資産合計 | 19,807,206 | 21,309,815 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 19,460,114 | 20,429,099 |
| 売上原価 | 14,994,401 | 15,758,574 |
| 売上総利益 | 4,465,712 | 4,670,524 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,229,816 | 4,328,523 |
| 営業利益 | 235,896 | 342,001 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,200 | 1,164 |
| 受取配当金 | 2,843 | 3,000 |
| 物品売却益 | 11,347 | 9,447 |
| 受取賃貸料 | 13,685 | 18,175 |
| その他 | 24,964 | 16,524 |
| 営業外収益合計 | 54,041 | 48,313 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,428 | 15,183 |
| その他 | 213 | 1,724 |
| 営業外費用合計 | 14,642 | 16,907 |
| 経常利益 | 275,295 | 373,406 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | | 175 |
| 保険解約返戻金 | 1,872 | |
| 特別利益合計 | 1,872 | 175 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 90 | 6,958 |
| 投資有価証券評価損 | 29,400 | 471 |
| 不動産取得税等 | 13,328 | 3,819 |
| その他 | 1,248 | 1,856 |
| 特別損失合計 | 44,068 | 13,106 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 233,099 | 360,475 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 85,718 | 126,602 |
| 法人税等合計 | 85,718 | 126,602 |
| 四半期純利益 | 147,380 | 233,872 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 147,380 | 233,872 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 147,380 | 233,872 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,302 | 446 |
| 退職給付に係る調整額 | 583 | 3,317 |
| その他の包括利益合計 | 9,885 | 3,763 |
| 四半期包括利益 | 137,495 | 237,636 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 137,495 | 237,636 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | | |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 233,099 | 360,475 |
| 減価償却費 | 335,436 | 413,134 |
| 引当金の増減額(は減少) | 75 | 703 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | 7,498 | 11,216 |
| 受取利息及び受取配当金 | 4,043 | 4,165 |
| 支払利息 | 14,428 | 15,183 |
| 保険解約返戻金 | 1,872 | |
| 固定資産除却損 | 90 | 6,958 |
| 投資有価証券評価損 | 29,400 | 471 |
| 不動産取得税等 | 13,328 | 3,819 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 51,420 | 418,557 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 11,430 | 43,990 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 72,493 | 2,373 |
| 未払金の増減額(は減少) | 224,076 | 31,291 |
| その他 | 154,404 | 16,781 |
| 小計 | 547,977 | 1,194,502 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,032 | 4,155 |
| 利息の支払額 | 14,539 | 11,380 |
| 法人税等の支払額 | 268,075 | 127,851 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 269,395 | 1,059,425 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 858,541 | 1,517,213 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 4,676 | 3,420 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 2,527 | 2,682 |
| 貸付けによる支出 | 1,163 | 1,128 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 2,452 | 1,161 |
| 保険積立金の払戻による収入 | 5,658 | 17,274 |
| その他 | 4,061 | 5,171 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 859,642 | 1,503,159 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 | 1,900,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 499,805 | 564,333 |
| リース債務の返済による支出 | 52,772 | 58,021 |
| 配当金の支払額 | 117,474 | 117,634 |
| その他 | 1 | 36 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 170,053 | 1,159,973 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 760,301 | 716,239 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,921,759 | 2,850,540 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,161,458 | 3,566,779 |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------|---|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 |

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|----------|---|---|
| 給与手当 | 1,333,405千円 | 1,376,714千円 |
| 運賃 | 1,302,367 " | 1,254,518 " |
| 賞与引当金繰入額 | 71,799 " | 82,762 " |
| 退職給付費用 | 21,270 " | 26,184 " |
| 貸倒引当金繰入額 | 23 " | 680 " |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|----------------|---|---|
| 現金及び預金 | 3,506,458千円 | 3,911,779千円 |
| 預入期間が3か月超の定期預金 | 345,000 " | 345,000 " |
| 現金及び現金同等物 | 3,161,458千円 | 3,566,779千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年6月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 117,945 | 16.00 | 2018年3月31日 | 2018年6月25日 | 利益剰余金 |

(注) 2019年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年6月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 117,975 | 16.00 | 2019年3月31日 | 2019年6月24日 | 利益剰余金 |

(注) 2019年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|---------------------------|------------|-----------|---------------|---------|------------|-------------|---------------------------|
| | 青果物事業 | 物流事業 | 研究開発・ 分析事業 | 持株会社 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 19,410,431 | 14,178 | 35,227 | 277 | 19,460,114 | | 19,460,114 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | | 1,144,573 | 28,759 | 386,600 | 1,559,932 | 1,559,932 | |
| 計 | 19,410,431 | 1,158,751 | 63,986 | 386,877 | 21,020,047 | 1,559,932 | 19,460,114 |
| セグメント利益 又は損失() | 244,934 | 5,737 | 9,386 | 164,485 | 394,295 | 119,000 | 275,295 |

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額 119,000千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|---------------------------|------------|-----------|---------------|---------|------------|-------------|---------------------------|
| | 青果物事業 | 物流事業 | 研究開発・ 分析事業 | 持株会社 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 20,373,320 | 23,676 | 32,102 | | 20,429,099 | | 20,429,099 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | | 1,507,741 | 29,951 | 416,400 | 1,954,093 | 1,954,093 | |
| 計 | 20,373,320 | 1,531,417 | 62,054 | 416,400 | 22,383,193 | 1,954,093 | 20,429,099 |
| セグメント利益 又は損失() | 336,405 | 2,332 | 5,271 | 182,862 | 522,206 | 148,800 | 373,406 |

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額 148,800千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 10円00銭 | 15円86銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 147,380 | 233,872 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円) | 147,380 | 233,872 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 14,744,268 | 14,748,841 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 2019年8月13日開催の取締役会決議に基づき、2019年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

デリカフーズホールディングス株式会社
取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岩淵 誠 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 三木 崇央 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているデリカフーズホールディングス株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、デリカフーズホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。